

東大野球部

New! メールマガジン

Vol.93

「あいわせ」

うらかな春の訪れとなりました。皆様いかがお過ごしでしょうか。

東大野球部では、春季リーグ戦開幕があと3日と迫る中、練習に励んでおります。昨年課題であった「得点力不足」を克服すべく、選手一同必死に練習を重ねてまいりました。春季リーグ戦では今冬の成果を「勝利」という形で必ずやお見せ致しますので、ぜひ皆様お誘いあわせの上、神宮球場へ足をお運びください。

今後とも東大野球部をよろしくお願い致します！

今後の日程

〈春季リーグ戦〉

- 4月12日 明大 11:00 東大 早大 13:30 法大
- 13日 法大 11:00 早大 東大 13:30 明大
- 19日 立大 11:00 法大 慶大 13:30 東大
- 20日 東大 11:00 慶大 法大 13:30 立大



注目コンビを命名！

今回のメルマガでは、芦田拓人学生コーチ（4年・私立武蔵）と藪博貴主務（4年・西大和学園）に、春季リーグ戦で注目すべき選手を2名ずつ選んでもらったうえで、その選手たちのコンビ名を考えてもらいました。

芦田拓人学生コーチが選んだのは…

コンビ名「虫」！



↑ 芦田学生コーチ

僕が注目する選手は、初馬（4年・副将・外野手・桐朋）と山本克志（2年・内野手・聖光学院）です。

彼らにはこのコンビ名を与えたいと思います。「虫」。

虫のように小さな存在だから？とんでもない。彼らはチームの誰よりも多くのバットを振り、誰よりも多くのノックを受け、毎日くたくたになるまで練習に明け暮れる、「練習の虫」だからです。

寒い寒い冬を越え、野手一本での勝負に全てをかける初馬は、慣れない外野守備を一から鍛え、持ち前の力強い打撃にも磨きをかけました。今年こそ自分の活躍で勝利をと意気込む山本克志は、昨秋立教戦でのエラーの悔しさを跳ね返すべく内野ノックに明け暮れてきました。彼らが神宮のこの一番でチームを救う一打一守を見せてくれることは間違いありません！



數博責主務が選んだのは…

コンビ名「アガタカ」!



↑ 數主務

阿加多(3年・外野手・学芸大附)と高橋(4年・内野手・私立武蔵)、2人の名前の頭2文字をとってみました。

自分は試合中、フィールドに立つことはありません。スコアを書かないといけないので目は試合に集中していますが、耳にはいろんな音が入ってきます。相手選手の声や応援の音など様々な音が入ってきますが、その中でも1番は自チームのベンチの声です。その声中で1番だと思うのが「アガタカ」こと、阿加多と高橋の声なのです。

この2人、声の出し方はふざけているようにも聞こえるのですが、意外とその内容はちゃんとしています。ふざけているように聞こえるというのは、大抵のチームの場合はベンチからの声や指示は選手が各々出すのですが、この2人は互いの声に呼応するのです(笑)。

例えば、無死1塁で相手がバントの構えをした

場合、普通のかげ声だと「バントやらせろ」とか「アウト1個取ろう」とかなのですが、この2人は高橋が「バントやらせちゃって〜」阿加多が「いいんだよ〜!」と言っている感じで、2人で1つの声を出しています。この2人がいると、周りもこの2人の声に乗ってチーム全体が声を出せるような気がします。

今週土曜日に開幕する春季リーグ戦、プレーだけでなく「アガタカ」が引っ張るベンチの声にもご注目ください!

編集後記

今回の特集はいかがでしたか。冬の間人一倍練習を重ねた「虫」コンビ、息の合った声でベンチを引っ張る「アガタカ」コンビ、どちらの魅力もお伝えできたかと思えます。この2組はもちろんのこと、他の選手も「コンビ」という視点から見ると新しい発見があるかもしれません。今週末の開幕にますます期待が高まります。

皆様からのご声援に今季こそはリーグ戦での勝利でお応えします。今シーズンも温かいご声援の程、よろしくお願い致します。

お問い合わせ先

〒113-0023

東京都文京区向ヶ丘1-5-9 一誠寮

TEL&FAX 03(3811)5100

メールアドレス office@tokyodbc.net

メルマガについてのご意見、配信停止のご希望がございましたら上記連絡先までご連絡下さい。

